



キケン注意!!

入山する方への注意事項です



毎年、山菜・キノコ採り、登山、溪流釣りや林業作業中のツキノワグマによる被害が見受けられます。

特に山菜・キノコ採りや溪流釣りの場合、採ることに集中してしまうため、ツキノワグマがいる気配に気づかず、突然出会ってしまう危険性が高くなります。県内の山は殆どがクマの生息域です。クマがいるのは当然と思って山に入ってください。特に、悪天候の日や沢音が大きい場所などでは、クマも人の気配に気づかないこともありますので、注意が必要です。

クマがいっぱい



岩手の山には沢山のクマが生息しています。入山の際には、出没情報を市町村役場、地元警察署や現地看板で確認し、一人では入山しないようにしましょう。

クマは臆病者!



クマはとても臆病です。突然出会うと、クマも驚いて襲ってることがあります。鈴、笛、ラジオなどで、人間の存在を知らせましょう。クマが活動する朝夕には入山を控えましょう。

子持ちは危険



子グマには決して近づいてはいけません。必ず近くに親グマがいて、とても危険です。

見たらすぐ逃げろ



新しい足跡やフンを見つけたときには、すぐに引き返しましょう。

岩手県

環境生活部自然保護課 電話019-629-5371(ダイヤルイン)

山でクマに遭わないための8か条!!

クマ対策に「絶対」はありません。
複数の対策を組み合わせることで自身の安全を確保しましょう。

- その1 「単独でなく複数で行動する」
- その2 「鈴やラジオで時々音をだしながら行動する」
- その3 「絶えず周囲の様子に気を配る」
- その4 「音が消される強風時や沢沿いは特に注意する」
- その5 「夜間、明け方、夕方の入山は避ける」
- その6 「食べ残しは放置せず密封して持ち帰る」
- その7 「撃退グッズ(忌避スプレー、鉈など)も活用する」
- その8 「地域のクマ情報を確認してから出かける」

もしクマに出会ったら!!

走って逃げない! 背中を見せない!

持ち物(リュックなど)を静かに置いて**注意をそらす**

目を離さず**静かにゆっくり後退**する

クマとの**間に木や岩を挟む**ようにする

風向きに注意して**撃退スプレー**を使う

クマが攻撃してきたら両手で顔や頭をカバーし

体を丸くして地面に伏せて防御する

山や森に入ることは、クマの生活場所に入ることです。
何よりも出遭わない工夫をすることが大切です。